

| | |
|--|--|
| タイトル | パネルディスカッション 「高等学校教育に根ざした 21 世紀を育む教科情報の在り方」 |
| 発表者 | コーディネータ：田邊則彦（慶應義塾湘南藤沢中・高等部） パネリスト：小泉カキ（尚美学園大学教授） 大貫和則（茗溪学園高等学校） 米田謙三（羽衣学園中・高等学校） |
| <p>15:40 開始</p> <p>司会：パネラーの紹介</p> <p>【主な発表内容】</p> <p>田邊：カイロとダマスカスに訪問。 コピー天国だった。正規のソフトは皆無。町で売られているものも不正コピー品。 Windows が 200 円。ADOBE フルセットが 400 円。 先生方も著作権の意識がない。 ウィルスだらけ。 USB を挿すと必ず感染。対策ソフトはあるが更新されていない。 米田先生は社会科・英語科・情報科の先生 大貫先生はインターネット情報匿名性の研究 小泉先生は中教審専門委員。 米田先生に他教科との関連。</p> <p>米田：大阪府情報教育研究会。大阪私学教育情報化研究会（情報科にこだわらない）に所属。 他教科との連携をお話する。 2001年9月から始めた。授業を公開してもらおう。「何でも言える環境づくり」 2004年1月情報と総合学習のあり方 2005年1月 2006年1月「ICT 力の向上」 2007年1月教科連携と産学連携 50回を超える研究会（キャラバン）の実施。 （大阪私学ネットで検索） 教科「情報」の授業イメージの模索 ウェブで担当者に事前に掲載してもらおう。（Virtual Brainstorming） 昨年より「出前キャラバン」他の学校に行き授業をしてしまう企画。</p> <p>T:オフラインとオンラインでのコミュニケーションが大切 （4時）</p> <p>大貫：情報活用の実践力。調べる→まとめる→発表する→調べる→まとめる・・・ 3つのリテラシー 情報リテラシー・技術リテラシー・メディアリテラシー 情報リテラシー（図書館学など） インターネットでの情報収集という課題 情報・・・信頼性信憑性（図書館も活用） 技術・・・操作性・ブックマーク メディア・・・発信者受信者としての位置づけ</p> | |

3つをバランスよく教えたい。

現実・・・学校格差。中学校では技術家庭で。→技術リテラシーに偏る。

今日の名札は県名が大きく書いてある。なぜ??

3つのリテラシー以前の問題がある。

T:統計リテラシーが不足。慶応ではデータリテラシーと定義して授業している。

小泉：中教審・初等中等教育分科会・情報専門部会で話し合われたこと。

H17年2月改正作業着手

H18年12月教育基本法改正

H19年6月教育3法改正

H20年3月までに答申を出す必要

- ・ 情報活用能力を確実に身に着けることがいっそう重要
- ・ 能力適正興味関心進路希望等に対応する（ABCの存続）
- ・ 基本的な能力の育成が十分でない
- ・ 情報社会に適応可能な能力態度の育成（緊急）

(改善の方向性)

- ・ 科学的な見方考え方の確実な定着
- ・ ABCを見直し
- ・ 実践的な態度をはぐくむ指導の重視
- ・ 多様性に対応するため「応用発展」的な内容の重視

(要望書の内訳)

- ・ 校長会だけが否定的。100Pある要望書の中に1Pのみが否定的。

フローから。

Q：情報リテラシーとメディアリテラシーの違い

メディアリテラシーは情報を媒介するものに重点

Q:統計リテラシーの不足について実際の事例を

O:アンケートに関する学習をしていない。

Y:大阪で情報の新採用。まったく情報の教員がいないところに配属。

未履修問題も発覚。水増し大学合格数。

実際になかなか研究会に出ることができない。

Y：よい授業とは「見せる授業」「投資してもらおう納得」「他教科への連鎖」

具体的な問題解決能力の育成

- ・ 身につけておくべき能力
 - ・ 教員が身につけておくべき能力
 - ・ 生徒が身につけておくべき能力
 - ・ 生徒が身につけた力

情報編集力

コンピュータ活用スキル

コラボレーション

O：アンケート調査実習を通して、3つのリテラシーが必要になる。

K：情報を履修で生徒に期待されるもの

- ・ ICT を道具として使う姿勢
- ・ 探求型実習による実践力
- ・ 科学的アプローチができる能力
- ・ 社会と情報のかかわりを探求する態度

情報科のミッション

今後の課題

情報科の教員の資質向上

学習指導内容および評価の共有

関東はもっとがんばる必要が

教科横断的な情報教育の検討

大学や社会の要請に応じた教育

IT 人材の養成。

ポイントとなるキーワード

問題解決能力

分析能力

表現力

評価とフィードバック

コミュニケーション能力

情報セキュリティ

ユビキタス社会

T：次の大会への宿題が出たと思います

許可 不許可

記録者氏名

海部弘